

9月から コミュニティバス JOYBUS のルートが 変わります

◆問い合わせ＝☎都市計画課(内線2730)



9月1日から、コミュニティバス JOYBUS のルートやダイヤが変更となります。

新しいルートは、毎日運行する3ルートと、平日朝夕の通学・通勤の時間帯に運行する3ルートです。(右ページ参照)

※ JOYBUS は令和6年4月の運行開始以来、利用状況や市民・利用者の声を踏まえた見直しを実施しています。令和7年4月からは運行本数向上のため曜日別のルートで運行してきましたが、この度、利用状況の改善を目指すため、ルート数を集約し毎日運行に変更します。また、今後も利用状況を確認のうえ、変更の必要性を検討していきます。

変更のポイント

①「幹線交通」として機能向上を目指します

バスが持つ大量輸送の特長を活かし、主要な道路や地区を通り、鉄道駅に接続することで、利便性および運行効率の向上を目指します。

②ルートの集約を行います

バス車両や運転士、運行費用などの限られた運行資源を効率的に活かすために、これまで利用者が多く今後も需要が見込まれる区間を中心にルートを「集約」します。

③「毎日運行」と「運行本数確保」の両立を目指します

13ルート(曜日別運行)から6ルート(毎日または平日運行)に集約することで、運行本数を確保し、利用の定着を図ります。

ルート名	主なバス停	運行日
石下駅ルート	三妻駅・道の駅常総・石下紫峰高校・地域交流センター豊田城・石下駅・石下文化センター・石下分署・向石下公民館・杉山・石下西中学校・大沢農村集落センター・大沢・石下総合運動公園	毎日運行
水海道駅ルート	きぬ総合運動公園・貫通道路入口・水海道西部病院・豊岡小学校南・横曽根(上・下)・河原・宝栄サンロード(北・南)・水海道駅・常総市役所前・きぬ医師会病院・水海道山田町	
小絹駅ルート	小絹駅・内守谷簡易郵便局・きぬの湯・内守谷工業団地北・寺田医院・水海道あすなろの里・一言主神社	
三妻ルート	石下駅・南石下駅・上三坂・三坂・中三坂・南三坂・山戸内・白畑・三妻小学校	平日の 朝夕のみ 運行
きぬの里・水海道ルート (水海道高野経由東回り)	水海道あすなろの里・一言主神社・寺田医院・内守谷工業団地北・きぬの湯・内守谷簡易郵便局・水海道高野町・水海道小学校・水海道駅・常総市役所前・きぬ医師会病院・水海道山田町	
きぬの里・水海道ルート (豊岡経由西回り)	小絹駅・内守谷簡易郵便局・きぬの湯・水海道厚生病院東・貫通道路入口・水海道西部病院・水海道二高入口・常総市役所前・水海道駅	

新しいルートは毎日運行！

便数も増えてさらに便利に！

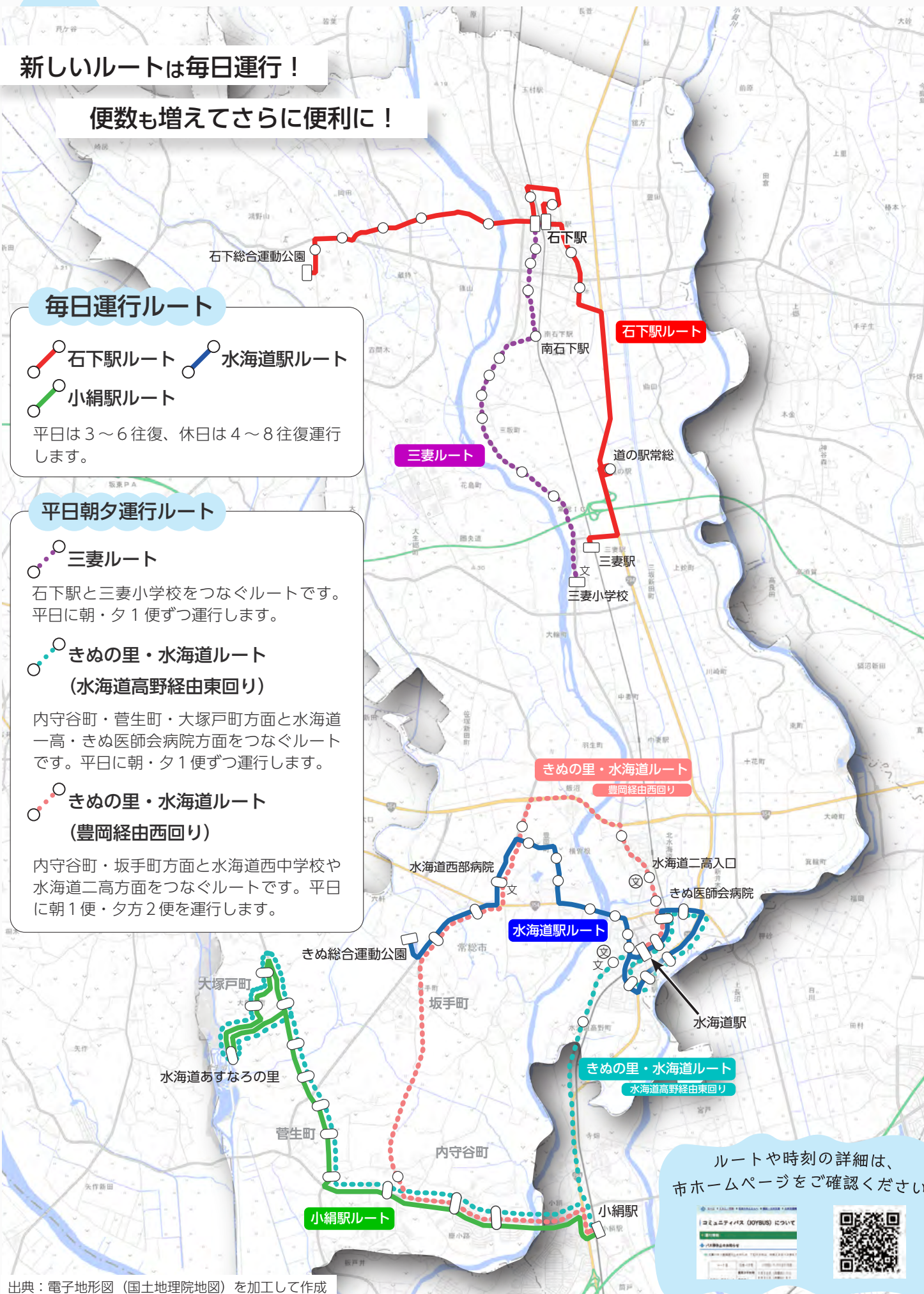
毎日運行ルート

- 石下駅ルート
- 水海道駅ルート
- 小絹駅ルート

平日は3～6往復、休日は4～8往復運行します。

平日朝夕運行ルート

- 三菱ルート**
石下駅と三菱小学校をつなぐルートです。平日に朝・夕1便ずつ運行します。
- きぬの里・水海道ルート (水海道高野経由東回り)**
内守谷町・菅生町・大塚戸町方面と水海道一高・きぬ医師会病院方面をつなぐルートです。平日に朝・夕1便ずつ運行します。
- きぬの里・水海道ルート (豊岡経由西回り)**
内守谷町・坂手町方面と水海道西中学校や水海道二高方面をつなぐルートです。平日に朝1便・夕方2便を運行します。



ルートや時刻の詳細は、市ホームページをご確認ください。



public transportation

公共交通

Urban planning
都市計画

車も公共交通も移動の一手段

その時、その場面に合わせた移動を選べる世の中に

市では、地域の特性や需要に即した公共交通サービスを行うために、市民の代表者や公共交通事業者、国、県などの関係者で組織する「常総市公共交通活性化協議会」を設置し、公共交通に関わる様々な議論をしています。これまで20年近く協議会の会長を務めている筑波大学の鈴木勉教授へ公共交通のこれまでとこれからについて、お話を伺いました。

● profile / プロフィール ●

鈴木 勉 (すずき つとむ)

筑波大学システム情報系教授。専門は都市計画、交通計画。常総市公共交通活性化協議会会長（平成20年から）。当市のほか、県内6市町の交通会議委員として公共交通施策に携わる。

——公共交通は、暮らしの中でどのような存在であるべきだと考えていますか。

「車か公共交通か」ではなく、その時、その場面に合った移動を選べるのが大切です。車も鉄道もバスも、予約型乗合交通「ふれあい号」も、それぞれに役割があります。暮らしに合わせて使い分けられることが理想です。公共交通は、車を持たない人だけのものではなく、誰もが必要なときに利用できる「移動の選択肢」として考えることが大切だと思います。

——公共交通の最適化を図っていく上で常総市の地域性はどのように影響していますか。

常総市は、水海道駅や石下駅を中心に市街地がある一方で、農地や集落が広く点在する地域です。そのため、一つの交通手段だけで市民の移動を支えることは難しく、それぞれの特徴を生かしながら交通手段を組み合わせることが重要になります。

公共交通は人を運ぶだけでなく、地域で暮らし続けるための社会基盤です。利用するのは高齢者だけではありません。学生や妊婦、車を持たない人、家

族の送迎負担を減らしたい人など、多くの人の暮らしを支えています。地域の実情に合わせて見直しを重ねながら、誰もが利用しやすい公共交通を育てていくことが、まちづくりにもつながっていきます。



予約型乗合交通「ふれあい号」

——交通手段は近年多様化しています。公共交通の未来をどのように考えていますか。

自動運転など新しい技術への期待が高まる一方で、それらが普及するには時間が必要です。大切なのは今ある交通手段をもっと便利につなぐことです。私の描く公共交通の未来は、新しい乗り物だけではなく、一人ひとりが暮らしに合った移動を選べる社会です。その積み重ねが、誰もが安心して暮らせる地域を育んでいくと思います。

新ルート

こんな方にも使ってほしい！

毎日の通学がもっと近く、
もっと安全に。

JOYBUSで通学してみませんか？

～通学にご利用頂ける新しいルートが運行開始します～

生徒の皆さんやそのご家族にとって、通学時の安全の確保や送迎の負担軽減などは重要な課題となっています。今回のルート見直しでは、新たに市南部にて、登下校の時間帯に学校周辺にアクセスできる2ルートを運行開始する運びとなりました。

雨の日や荷物がが多い日、ご家族による送迎が難しい日などの必要に応じて、バスも使ってみてはいかがでしょうか。保護者の皆さんの安心と、生徒の学校生活をサポートするJOYBUSをご活用ください。

きぬの里・水海道ルート

(豊岡経由西回り)

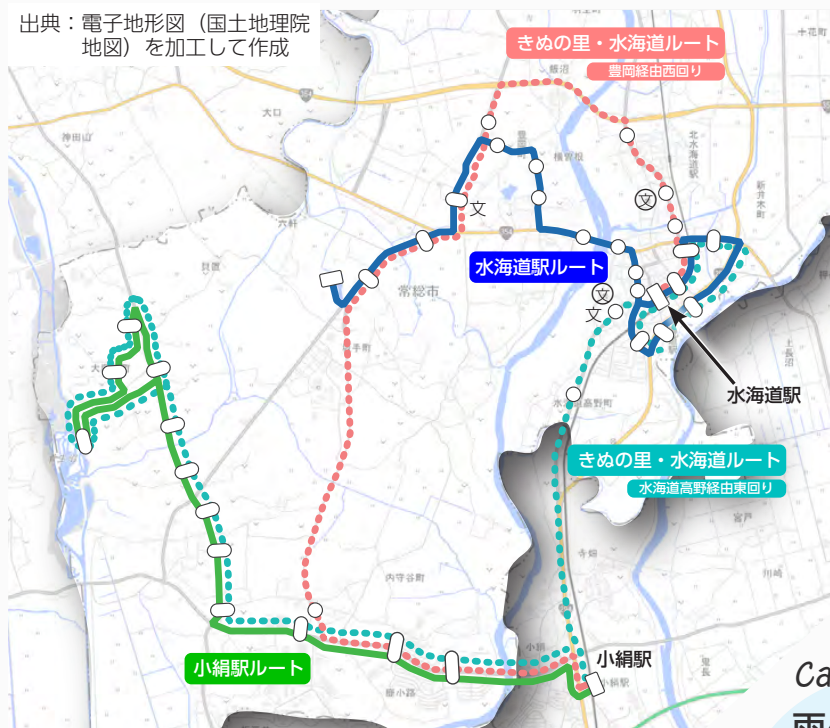
内守谷町きぬの里・坂手町方面から
水海道西中学校や水海道二高方面へ

きぬの里・水海道ルート

(水海道高野経由東回り)

内守谷町きぬの里・菅生町・
大塚戸町方面から水海道一高方面へ

出典：電子地形図（国土地理院
地図）を加工して作成



※運賃はいずれも1回のご乗車につき250円

Case.01

バスで水海道二高へ
通学する高校生

行き	7:26	7:38
	坂手町 篠山公民館	水海道 二高入口
帰り	16:05 17:50	16:18 18:03
	水海道 二高入口	坂手町 篠山公民館

Case.03 バスで水海道一高へ 通学する高校生

行き	7:26	7:46
	松山	水海道 小学校
帰り	17:46	18:20
	水海道 小学校	松山

Case.02

雨の日はバスに乗って
水海道西中へ通学

行き	7:10	7:30
	内守谷 簡易郵便局	水海道 西部病院
帰り	16:15	16:35
	水海道 西部病院	内守谷 簡易郵便局